



サケ・マスを放流する園児・児童

大きくなって帰ってきてね

追良瀬内水面漁協によるサケ・マス稚魚放流式が追良瀬川で行われました。

福沢眞一代表理事組合長の「サケの遡上が減ってきている。大きな声でたくさん帰ってきてと叫んで放流して欲しい」という挨拶のあと、修道小学校、深浦小学校、みよし保育園の子どもたちが「元気に帰ってきてー」、「バイバイ」と声をかけ放流を行いました。

この日はサケ1,000尾、サクラマス3,000尾を放流。4月中旬にかけ、サケは5万3千尾、サクラマスは秋にかけて15万尾の放流を予定しています。近年サケの遡上が減ってきていますが、秋の風物詩として園児・児童の声に応えて帰ってきて欲しいです。

4/13

惜しまれつつ閉店・自由軒

岩崎上地区の「自由軒」が惜しまれつつ閉店しました。

70年以上続いた店で、店主の青山克子さんは「周りの人に助けられてここまで長く続けることができた」と語りました。最終日のこの日も客足が絶えることはなく、最後の自由軒のラーメンに舌鼓を打っていました。ほとんどのお客さんが「お疲れ様、今までありがとう」といった声をかけて店を後にしていく姿が印象的でした。

長年愛されたお店が閉店するのは寂しいですが、青山さんにはゆっくり休んでもらい、セカンドライフを楽しんでもらいたいです。

4/15



ラーメンを作る青山克子さん(写真左)



土砂をあげる地域住民

みんなで住みよい きれいなまちへ

美しい深浦の景観を維持し、住み心地の良い地域にしようとする毎年行っている沿道美化清掃が今年も町内全域で実施されました。

当日は朝方から雨が降るあいにくの天候でしたが、自治会や老人クラブなど約1,800人が参加し、道路沿いや海岸など日頃自分たちが生活している地域のゴミ拾いや側溝の土砂上げなどを行いました。

観光シーズンを迎え、今後もきれいなまちの景観を守っていくためにも町民全員が「ゴミのポイ捨てはしない」という意識を持って生活していきましょう。

4/18

深浦町保健協力員会総会・研修会開催

町保健協力員会総会及び研修会が、役場文化ホールで開催されました。

総会には総勢133名の保健協力員の内77名が参加されました。会の冒頭には、長年にわたり保健協力員として活動されてきた功労者（勤続30年以上1名、20年以上9名）への表彰が行われ、出席された保健協力員に町長から感謝状が授与されました。

研修会では、山野美容芸術短期大学名誉教授の生山匡氏が講師として招かれ、「いつ始めても遅くはない！高齢期における効果的な健康づくりその原則」というテーマで研修を行いました。出席された方は、自らの生活に役立てようと耳を傾けていました。

4/23



勤続20年以上の感謝状を授与された6名(上段左から松本さん、紀本さん、伊藤さん、下段左から吉田さん、堀内さん、原田さん)

まちかどウォッチング

みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。
深浦町総合戦略課 企画調整係
電話 74-2122

わくわくの新生活スタート

町内の小中学校で入学式が一堂に行われました。小学校18名（深浦小8名、修道小5名、いわさき小5名）、中学校29名（深浦中20名、大戸瀬中9名）の児童生徒たちが学校生活をスタートさせました。深浦小学校では男子4名、女子4名が入学。新入生の紹介では、一名ずつ名前が呼ばれ大きな声で返事をしていました。「一年生になったら」を立派に歌い、在校生から歓迎されていました。在校生を代表し、三浦京太郎さんが「困ったことがあったら何でも聞いて欲しい。一緒に学校生活を楽しみましょう。」と新入生に向けて歓迎の言葉をのべました。

4/7



入場する新入生



啓発グッズを配る平沢町長

交通ルールを守りましょう

春の交通安全街頭指導が、役場前とJR十二湖駅前国道2箇所で行われました。

町交通安全対策協議会、鯉ヶ沢地区交通安全協会各支部交通指導隊、交通安全母の会の方々に参加し、シートベルトの着用や歩行者優先の安全運転、今年4月から自転車の交通違反が厳しくなったことを受け、自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底ができるよう啓発グッズを配りながらドライバーや自転車に乗る人たちへ安全運転を呼びかけました。

4/8

海浦暁観さん、100歳を迎える

海浦暁観さん（浜町）は1926（大正15）年4月1日に生まれ、昭和27年に結婚され、子ども3人、孫5人、ひ孫5人に恵まれ、現在もご自宅で元気に生活しています。円覚寺の住職として、30年近く信徒と全国各地の寺院を巡礼し、その由緒を学び、法話を練ることは大きな喜びであり、今も大切な思い出となっています。

海浦さんは、顕彰授与の日を楽しみにされており、お祝いに訪れた平沢町長に元気に話しかけるなど、家族に囲まれとても嬉しそうにしていました。

4/10



100歳を迎えた海浦暁観さん(写真右から2番目)



円覚寺に向けて放水する分団員

文化財を守る、消火訓練

国の指定重要文化財を有する円覚寺の消火訓練が、4月11日に行われました。

午前11時に訓練サイレンが鳴り、第1・12・23分団が出勤。各分団員が真剣に放水準備を進め、本署職員も到着し、素早い準備で消防団と消防署員が同時に円覚寺に向け放水をはじめました。

この日は火災予防パレードも合わせて行われており、町内全域に火災予防の呼びかけを行いました。林野火災は、2月から5月にかけて多く発生する傾向があるので、火の取り扱いには十分注意して過ごしましょう。

4/11